

川崎市立川崎病院通信



川崎市立川崎病院
シンボルツリー



川崎市立川崎病院の基本理念
私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病氣」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。

患者さんの権利や
病院運営方針はこちら



血管外科特集！脱水による血栓症と 当院の血管外科治療について紹介します。



外科部長の和多田です。

脱水は血液を濃くし、肺塞栓症などの血栓症を引き起こす大きな要因となります。こまめな水分補給や長時間同じ姿勢を避けることは、日常の中でできる重要な予防策です。

当院の血管外科では、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、シャント造設等の血管内治療に幅広く対応しています。脚の腫れや痛み、むくみ、急な息切れ、胸の痛みなどの症状がある場合、まずはお近くの医療機関に相談することをおすすめします。

夏こそ注意！脱水が引き起こす血栓症について

なぜ脱水が血栓症につながるの？

暑い日は体内の水分が不足し、血液がドロドロになりやすいため、血のかたまり（血栓）ができやすくなります。

特に注意が必要なのは

- ・高齢者・高血圧、脂質異常症の方
- ・心臓、肺、腎臓の病気がある方
- ・デスクワークが多い方
- ・入浴後や飲酒後の方

血栓症を防ぐ！“脱水予防”

- ・のどが渇く前に水分補給
のどが渇いたと感じた時点で、すでに軽い脱水になっている可能性があります。スポーツや屋外作業時、入浴後・就寝前・起床後は水分摂取を意識しましょう。
- ・定期的にこまめな運動
飛行機やデスクワークで座りっぱなしの時間が長くなると血栓ができやすくなります。1時間に1回は軽く歩いたり、足首を回したりして、こまめな運動を意識しましょう。



水分補給＋運動で
血栓予防を心掛けましょう！

当院の血管外科の治療について

ふくぶだいどうみゃくりゅう 腹部大動脈瘤

腹部大動脈瘤とは、お腹の中を通る太い血管が、加齢や動脈硬化（喫煙・高血圧・脂質異常）などの影響で、こぶのように膨らんでしまう病気です。大動脈は全身に血液を送る一番太い血管のため、そこが膨らむと、風船と同じように破裂する危険性が出てきます。

特に瘤（こぶ）の大きさが5.5cm以上になると破裂のリスクが高くなると言われています。

瘤の破裂を防ぐための治療は手術が中心となります。手術は大きく分けて2つの方法があり、ステントグラフト内挿術と人工血管置換術になります。



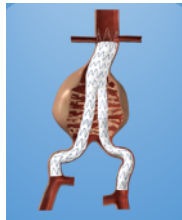
腹部大動脈瘤のCT画像

ないそうじゅつ ステントグラフト内挿術

脚の付け根からカテーテルという管を入れて、動脈瘤がある場所に人工血管(ステントグラフト)を入れる手術です。太いボールペンくらいの管の中にステントグラフトが収納されており、血管内から動脈瘤に到達し、動脈瘤の中からステントグラフトを挿入し、動脈瘤に直接血流が流れなくなることで破裂を予防する手術です。手術侵襲が少なく、とても優れた手術方法ですが、根治手術ではないため長期の経過観察が必要です。



ステントグラフト



ステントグラフト内挿後

じんこうけっかんちんじゅつ 人工血管置換術

お腹を切開し、動脈瘤がある部分を切除して、人工血管に置き換える手術です。お腹の傷は30cm程度と大きく、手術時間が長く、出血も増えることから体への負担が大きい手術になります。しかし、根治性の高い手術方法で長期成績は優れており、健康で元気な方にお勧めする方法です。

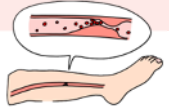


人工血管



人工血管置換術の手術中

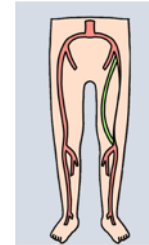
へいそくせいどうみゃくこうかしょう 閉塞性動脈硬化症



主に足の動脈が、動脈硬化によって血管の内側にプラーク（脂質のかたまり）が溜まり、血液の流れが悪くなる病気です。初期は自覚症状がほとんどないですが、病状が進行すると、安静時も足が痛んだりします。放置すると、皮膚が黒くなって切断が必要な場合もあります。喫煙、糖尿病、高血圧、脂質異常、運動不足に当てはまる方は注意が必要です。薬と生活習慣の見直しでも血管の流れが改善しない場合は、手術を検討します。手術には2つの方法があり、患者さんの状況に応じて選択します。

バイパス手術

バイパス手術は、詰まった血管の代わりに、人工血管を埋め込み、上流と下流の血管を縫い合わせることで、足の先まで血液が流れるようにする手術です。



バイパス手術後

カテーテル手術

カテーテル手術は、足の付け根の血管から細い管を入れて、血管が細い場所を、バルーン（風船）やステント（形状記憶金属）で広げる手術です。



バルーン



ステント

かしじょうみゃくりゅう 下肢静脈瘤

足の静脈が拡張してコブ状に浮き出たり蛇行したりする病気です。初期は血管が浮き出て見える等の見た目の変化があります。進行すると足のだるさ・むくみ・皮膚潰瘍等の症状が出る場合があります。静脈内の逆流防止弁（ドアのようなもの）が壊れて、静脈血流が逆流してしまう事が原因です。弁が壊れて機能しなくなった静脈の逆流を無くすることが根本的な治療法になります。主な治療法は3種類ありますが、いずれも日帰り手術が可能です。



とうせきよう 透析用シャント

人は血液の老廃物を腎臓から尿として排出しています。腎臓の機能が弱り、尿が出なくなった方は、血液の老廃物を定期的に処理するために人工透析を行います。週に2-3回、たくさんの血液を取り出してきれいにして戻すのが人工透析です。たくさんの血液を簡単に取り出せるように動脈と静脈をつなぐのが透析用シャントです。当院では、透析用シャントを作成したり、細くなってしまったシャント血管を広げるカテーテル治療を行っています。



SPECT-CT設置しました！

当院では、地域がん診療連携拠点病院として高度な医療を提供するため、最新の「SPECT-CT装置」を導入し、本年4月下旬より稼働を開始しました。

SPECT-CTとは

SPECT-CTは、臓器の血流や代謝などの機能を画像化する核医学検査（SPECT：スペクト）と、臓器の形や位置などの形態を画像化するCT検査を同時に行うことができます。2つの画像を重ね合わせることで、病変の有無や場所をより正確に特定できるようになります。SPECT-CTの導入は、がんの早期発見や正確な病期診断、最適な治療方針の決定において極めて重要な役割を果たします。



対象の検査

対象となる検査は、骨の代謝状態を調べる「骨シンチグラフィ」のほか、脳や心臓の血流を調べる「脳血流シンチグラフィ」や「心筋血流シンチグラフィ」など多岐にわたります。



放射線科スタッフより

地域の皆様に、より質の高い医療の提供が可能となりました。今後も最新技術を導入し、皆様安心して最善の医療を受けられる環境づくりに努めてまいります。SPECT-CT検査をお受けになれる方で、ご不明な点がございましたら、主治医や放射線科スタッフまでお気軽にお尋ねください。

診察前に マイナンバー カード

ご来院の都度、受診前に、各診療科の受付や1階 総合案内近くに
あるカードリーダーに、マイナンバーカードをかざしてください。



健康保険証の有効期限は令和7年12月に満了となりました。
来院時にマイナ保険証または資格確認書をお持ちください。

〔発行元〕 令和8年6月16日発行（第61号）

発行責任者：瀬川 裕／編集：広報委員会

事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話：044-233-5521